

# ダイワ／ミレーアセット 亜細亜株式ファンド

## 運用報告書(全体版) 第17期

(決算日 2024年7月22日)

(作成対象期間 2024年1月23日～2024年7月22日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2016年1月21日～2026年1月20日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	当 ファ ン ド	イ. ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド(円クラス)」の投資証券(円建) ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジア・オセアニアおよび日本のアジア・ワン企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific 指数 (税引後配当込み、円換算)		公社債組入比率	投資証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
13期末(2022年7月20日)	12,353	0	△ 4.0	18,429	0.4	—	98.1	2,762
14期末(2023年1月20日)	11,771	0	△ 4.7	18,442	0.1	—	99.5	2,462
15期末(2023年7月20日)	12,604	150	8.4	20,527	11.3	—	99.2	2,434
16期末(2024年1月22日)	12,565	550	4.1	21,448	4.5	—	99.4	2,229
17期末(2024年7月22日)	13,768	1,000	17.5	25,868	20.6	0.0	97.4	2,205

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC Asia Pacific 指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC Asia Pacific 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC Asia Pacific 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

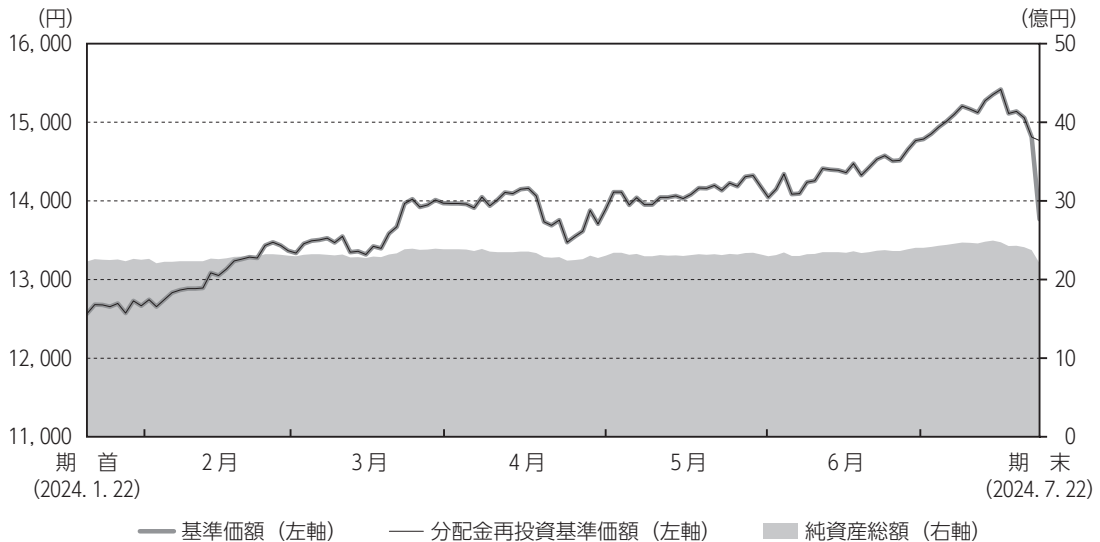
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：12,565円

期末：13,768円（分配金1,000円）

騰落率：17.5%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

アジア・オセアニア株式市況（除く日本）ならびに国内株式市況が上昇したことや、アジア・オセアニア通貨の対円為替相場が円安で推移したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I A C Asia Pacific 指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2024年 1月22日	12,565	—	21,448	—	—	99.4
1月末	12,666	0.8	21,588	0.7	—	99.3
2月末	13,366	6.4	22,933	6.9	—	99.6
3月末	13,969	11.2	23,721	10.6	0.0	99.6
4月末	13,898	10.6	24,210	12.9	0.0	99.6
5月末	14,043	11.8	24,677	15.1	0.0	99.6
6月末	14,785	17.7	25,871	20.6	0.0	99.5
(期末)2024年 7月22日	14,768	17.5	25,868	20.6	0.0	97.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2024. 1. 23 ~ 2024. 7. 22)

### ■アジア・オセアニア株式市況（除く日本）

アジア・オセアニア株式市況（除く日本）は上昇しました。

アジア・オセアニア株式市況（除く日本）は、当作成期首から2024年4月上旬にかけて、中国当局の株式市場支援策への期待や春節休暇中の好調な消費需要を好感して中国株が堅調に推移したこと、米国半導体関連企業の好調な決算を背景に台湾や韓国のテクノロジー株が上昇したことから、堅調に推移しました。その後は、中東情勢の悪化などから上げ幅を縮小する場面もみられたものの、米国の利下げ期待や中国政府による支援策を背景とした不動産市場の回復期待、人工知能向け半導体関連企業の業績期待を背景に、当作成期末にかけて上昇基調で推移しました。

### ■日本株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首より、新NISA（少額投資非課税制度）を通じた資金流入や海外投資家による日本株投資の積極化、円安進行などが好感され、急上昇しました。2024年3月下旬以降は、急ピッチでの上昇が一服し、景況感の悪化や市場予想を下回る企業業績見通しの発表、国内長期金利の上昇、国内外の政治情勢の不透明感などが上値を抑え、高値圏での保ち合いとなりました。6月中旬以降は、海外金利の上昇によるさらなる円安の進行などを背景に、7月上旬まで株価は上昇しました。その後は、円高の進行等に伴い、上昇幅をやや縮小して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

アジア・オセアニア通貨の対円為替相場は上昇（円安）しました。

アジア・オセアニア通貨は、米国金利が上昇したことや、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示し円安米ドル高が進行したことなどを背景に、2024年7月上旬まで上昇を続けました。その後は、本邦通貨当局の円安へのけん制や、日銀の金融緩和姿勢の後退観測などから、当作成期末にかけてやや反落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「APエクイティ・ファンド」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。また、「APエクイティ・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※APエクイティ・ファンド：ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

### ■APエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定いたします。

#### ・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、半導体需要の高まりから恩恵を受ける台湾や韓国のハイテク関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

#### ・日本株式

2024年年初からの上昇率が大きいこと、高値警戒感が生じやすい状況です。しかし、海外投資家からの注目度は引き続き高いことや、NISA（少額投資非課税制度）の投資枠拡大による個人投資家の資金流入期待もあり、下値不安は小さく、堅調な株価推移を予想します。当面の注目点は2024年の春闘の動向です。3月中旬の集中回答日に向け、各社の賃上げに関する報道が増えることが予想されます。2023年以上の賃金上昇率であれば、株式市場の支援材料になると予想します。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行います。脱炭素社会やロボット・省人化など中長期的なテーマ性を有する設備投資関連を中心としたポートフォリオを構築します。アジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連株に引き続き注目してまいります。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2024. 1. 23 ~ 2024. 7. 22)

## ■当ファンド

当ファンドは「APエクイティ・ファンド」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「APエクイティ・ファンド」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

## ■APエクイティ・ファンド

アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、定量・定性分析に基づいてミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定しました。

## ・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資しました。国別構成では、主に中長期的な消費拡大が期待されたインドやフィリピンを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。個別銘柄では、TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING COMPANY（台湾、情報技術）、ICICI BANK（インド、金融）などを高位に組み入れました。

## ・日本株式

業種構成は、脱炭素社会の実現に向けたソリューションを提供する資本財・サービスや、付加価値の高い製品・サービスの供給によってアジアの製造業の成長を支える情報技術などを、参考指数と比較してオーバーウエートとしました。一方で、バリュエーションが高いヘルスケアなどをアンダーウエートとしました。

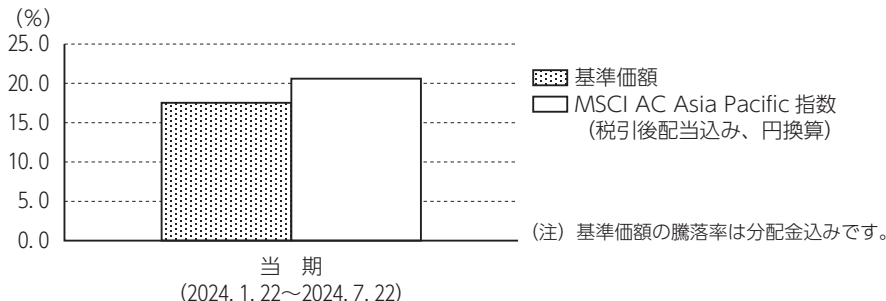
個別銘柄では、業績見通しや株価指標、アジア展開の潜在力などを総合的に勘案し、日立製作所、日本電気、キーエンスなどを高位に組み入れました。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2024年1月23日 ～2024年7月22日	
<b>当期分配金 (税込み) (円)</b>		<b>1,000</b>
対基準価額比率 (%)		6.77
当期の収益 (円)		1,000
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		3,767

### 収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.03円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,482.83
(c) 収益調整金		694.90
(d) 分配準備積立金		2,589.97
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		4,767.74
(f) 分配金		1,000.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		3,767.74

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。  
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。  
(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。





## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、「APエクイティ・ファンド」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。また、「APエクイティ・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■APエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで連携して運用を行ってまいります。

アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定いたします。

#### ・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、半導体需要の高まりから恩恵を受ける台湾のハイテック関連銘柄やインドの高い経済成長から恩恵を受けるインドの銀行関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

#### ・日本株式

足元の軟調な経済指標や内閣支持率低下による政局の不透明感が懸念材料としてあるほか、2024年11月の米国大統領選挙を前に手控えムードにもなりやすいと考えます。しかし、日銀の金融政策は「当面、緩和的な金融環境が継続する」ことが見込まれる中、資本コストを意識した経営に向けた株主還元策の強化や新NISA（少額投資非課税制度）の投資枠拡大による個人投資家資金の株式市場への流入期待も根強く、堅調な株価推移を予想します。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行います。脱炭素社会やロボット・省人化など中長期的なテーマ性を有する設備投資関連を中心としたポートフォリオを構築します。アジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連株に引き続き注目してまいります。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 1. 23～2024. 7. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	86円	0.618%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,911円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(57)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	87	0.622	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

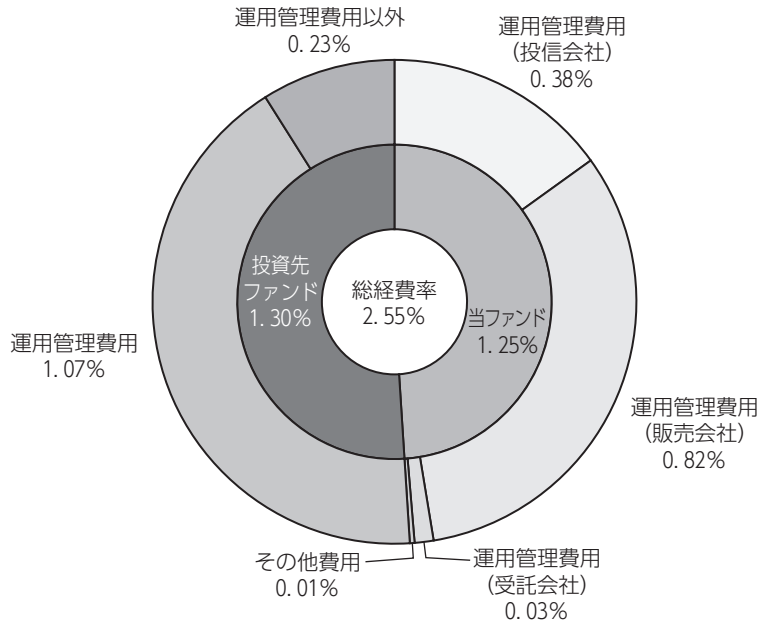
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.55%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.55%
①当ファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.07%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資証券

(2024年1月23日から2024年7月22日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND (ルクセンブルグ)	千口 —	千円 —	千口 2,057.8196857	千円 457,500

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年1月23日から2024年7月22日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	—	—	3	3

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND	9,414.2369683	2,146,832	97.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	4	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年7月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	2,146,832	90.0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	238,300	10.0
投資信託財産総額	2,385,133	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年7月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,385,133,640円
コール・ローン等	238,300,480
投資証券 (評価額)	2,146,832,012
ダイワ・マネースtock・マザーファンド (評価額)	1,148
(B) 負債	180,010,919
未払収益分配金	160,165,864
未払解約金	5,360,886
未払信託報酬	14,388,755
その他未払費用	95,414
(C) 純資産総額 (A - B)	2,205,122,721
元本	1,601,658,640
次期繰越損益金	603,464,081
(D) 受益権総口数	1,601,658,640口
1万口当り基準価額 (C / D)	13,768円

\* 期首における元本額は1,774,712,562円、当作成期間中における追加設定元本額は10,130,281円、同解約元本額は183,184,203円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,768円です。

■損益の状況

当期 自 2024年 1月23日 至 2024年 7月22日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>4,971円</b>
受取利息	5,144
支払利息	△ 173
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>367,121,607</b>
売買益	388,323,094
売買損	△ 21,201,487
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 14,484,169</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>352,642,409</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>299,687,010</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>111,300,526</b>
(配当等相当額)	( 108,655,335)
(売買損益相当額)	( 2,645,191)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>763,629,945</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 160,165,864</b>
<b>次期繰越損益金 (G + H)</b>	<b>603,464,081</b>
追加信託差損益金	111,300,526
(配当等相当額)	( 108,655,335)
(売買損益相当額)	( 2,645,191)
分配準備積立金	492,163,555

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,971円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	237,499,425
(c) 収益調整金	111,300,526
(d) 分配準備積立金	414,825,023
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	763,629,945
(f) 分配金	160,165,864
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	603,464,081
(h) 受益権総口数	1,601,658,640口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	1,000円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。</li> <li>・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。</li> <li>・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額が普通分配金です。</li> <li>・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。</li> </ul>
---

## AP エクイティ・ファンド

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット垂細垂株式ファンド）は、ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」の投資証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

### 貸借対照表 (2023年 3月31日現在)

	(USD)
投資有価証券簿価	16,065,846
評価損益	1,514,204
投資有価証券時価評価額	17,580,050
現金	507,921
未収配当金および未収利息	67,729
<b>資産合計</b>	<b>18,155,700</b>
未払費用	37,928
<b>負債合計</b>	<b>37,928</b>
<b>純資産</b>	<b>18,117,772</b>
<b>1口当りの純資産</b>	
Jクラス JPY シェア	169.99
<b>発行済み口数</b>	
Jクラス JPY シェア	14,209,836.617

損益計算書および純資産変動計算書  
(2023年3月31日に終了した会計期間)

	(USD)
<b>期首純資産</b>	<b>23,616,830</b>
配当（源泉徴収税控除後）	180,466
純受取利息	3,548
<b>収益合計</b>	<b>184,014</b>
運用会社報酬	15,888
投資管理報酬	124,679
保管会社報酬および預託報酬	27,476
監査報酬および弁護士費用	18,057
管理会社報酬および会計報酬	36,989
登録および名義書換代理人報酬	15,076
年次税	1,989
出版・印刷費	1,685
その他税金	16,601
税金計算および報告報酬	501
取引費用	29,951
その他費用	13,428
<b>費用合計</b>	<b>302,320</b>
<b>投資による純損益</b>	<b>(118,306)</b>
<b>純実現損益</b>	
投資有価証券売却	(781,328)
為替先渡取引	(85)
為替取引	(51,512)
<b>評価損益の純増減額</b>	
投資有価証券	(1,951,173)
<b>運用による純資産の期中増減額</b>	<b>(2,902,404)</b>
解約による資金流出	(2,596,654)
<b>設定・解約による資金流出入</b>	<b>(2,596,654)</b>
<b>期末純資産</b>	<b>18,117,772</b>

2023年3月31日現在の投資明細表（米ドル建て）

数量	銘柄明細	評価額	純資産に 占める 割合%
公式な取引所の上場が認められた譲渡可能な証券および金融市場商品			
	株式		
121,000	Airports of Thailand pcl - NVDR	251,235	1.39
9,700	Ajinomoto Company Inc.	335,108	1.85
55,000	Alibaba Group Holding Limited	703,453	3.89
6,994	Apollo Hospitals Enterprise Limited	366,871	2.02
1,800	As One Corp.	75,740	0.42
5,317	Asian Paints Limited	178,671	0.99
4,400	Asics Corp.	123,758	0.68
344,400	Ayala Land Inc.	167,875	0.93
312,200	Bangkok Dusit Medical Services pcl - NVDR	269,334	1.49
636,000	Bank Central Asia Tbk PT	371,130	2.05
3,600	BIPROGY Inc.	87,756	0.48
3,157	Britannia Industries Limited	166,033	0.92
13,500	BYD Company Limited	395,206	2.18
9,400	Capcom Company Limited	333,838	1.85
13,000	China Merchants Bank Company Limited - H	66,409	0.37
1,800	China Tourism Group Duty Free Corp. Limited	44,508	0.25
17,784	China Tourism Group Duty Free Corp. Limited	473,690	2.61
3,700	Contemporary Amperex Technology Company Limited - A	218,387	1.21
120,300	CP All pcl - NVDR	218,119	1.20
1,285	CSL Limited	247,878	1.37
11,300	Daiichi Sankyo Company Limited	408,690	2.25
2,400	Daikin Industries Limited	425,817	2.35
7,400	Denso Corp.	413,112	2.28
8,933	Foshan Haitian Flavouring & Food Company Limited - A	99,387	0.55
800	Fujitsu Limited	107,017	0.59
21,000	Galaxy Entertainment Group Limited	140,314	0.77
13,640	Grab Holdings Limited - A	38,874	0.21
24,566	HDFC Bank Limited	481,125	2.66
5,653	Hindustan Lever Limited	176,115	0.97
10,500	Hitachi Limited	571,130	3.16
3,700	Hoya Corp.	404,065	2.22
9,462	ICICI Bank Limited	101,001	0.56
2,700	IHI Corp.	67,234	0.37
3,241	Kakao Corp.	152,111	0.84
4,100	KDDI Corp.	125,868	0.69
1,200	Kobayashi Pharmaceutical Company	72,815	0.40
14,400	Koei Tecmo Holdings Company Limited	257,920	1.42
42	LG Chem Limited	22,970	0.13
2,403	LG Electronics Inc.	212,825	1.17
232	LG Energy Solution Limited	104,074	0.57
64	LG Household & Health Care Limited	29,497	0.16
69,000	Li Ning Company Limited	544,100	3.00



数量	銘柄明細	評価額	純資産に 占める 割合%
1,500	MatsukiyoCocokara & Company	78,867	0.44
15,120	Meituan Dianping - B	276,403	1.53
7,798	Midea Group Company Limited - A	60,995	0.34
2,000	Mitsubishi Heavy Industries Limited	73,145	0.40
36,700	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc.	233,399	1.29
1,200	MS&AD Insurance Group Holdings	36,956	0.20
800	Murata Manufacturing Company Limited	48,243	0.27
1,106	Naver Corp.	171,612	0.95
661	Nestle India Limited	158,484	0.87
7,800	Nissan Chemical Corp.	350,437	1.93
4,800	Nissin Foods Holdings Company Limited	436,707	2.41
13,100	Nomura Research Institute Limited	301,155	1.66
10,400	Olympus Corp.	180,854	1.00
1,516	PDD Holdings Inc.	115,883	0.64
4,500	Proya Cosmetics Company Limited	118,952	0.66
8,690	Reliance Industries Limited	246,485	1.36
4,800	Resorttrust Inc.	75,929	0.42
14,800	Rohto Pharmaceutical Company Limited	307,489	1.70
4,296	Samsung Electronics Company Limited	211,195	1.17
216	Samsung Sdi Company Limited	121,950	0.67
34,800	Sands China Limited	121,027	0.67
1,419	Sea Limited	122,914	0.68
39,485	Shanghai International Airport - A	319,865	1.77
800	Sompo Holdings Inc.	31,514	0.17
6,700	Sony Corp.	602,284	3.32
4,300	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc.	170,871	0.94
2,400	Suzuki Motor Corp.	86,477	0.48
43,000	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited	752,729	4.15
5,200	Tencent Holdings Limited	255,567	1.41
12,000	Terumo Corp.	321,680	1.77
3,389	Titan Industries Limited	103,708	0.57
13,500	Tokio Marine Holdings Inc.	257,900	1.43
61,000	Toray Industries Inc.	346,075	1.91
5,038	Trip.com Group Limited	186,305	1.03
6,000	Unicharm Corp.	244,860	1.35
23	Vietnam Dairy Products JSC	74	0.00
	<b>株式合計</b>	<b>17,580,050</b>	<b>97.03</b>
	<b>公式な取引所の上場が認められた譲渡可能な証券および金融市場商品合計</b>	<b>17,580,050</b>	<b>97.03</b>
	<b>投資有価証券時価評価額</b>	<b>17,580,050</b>	<b>97.03</b>
	現金	507,921	2.80
	その他純資産	29,801	0.17
	<b>純資産総額</b>	<b>18,117,772</b>	<b>100.00</b>

## ダイワ・マネースtock・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2024年7月22日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2024年1月23日から2024年7月22日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
1219国庫短期証券 2024/6/24	千円 129,997,160		千円
1239国庫短期証券 2024/9/24	69,999,650		
1231国庫短期証券 2025/5/20	39,942,240		
1232国庫短期証券 2024/8/19	11,999,832		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

下記は、2024年7月22日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（217,196,580千円）の内容です。

#### (1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2024年7月22日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 122,000,000	千円 121,947,745	% 56.1	% —	% —	% —	% 56.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

#### (2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年7月22日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1232国庫短期証券	% —	千円 12,000,000	千円 11,999,903	2024/08/19	
	1239国庫短期証券	—	70,000,000	69,999,756	2024/09/24	
	1231国庫短期証券	—	40,000,000	39,948,084	2025/05/20	
	合 計	銘 柄 数 金 額	3銘柄	122,000,000	121,947,745	

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第14期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

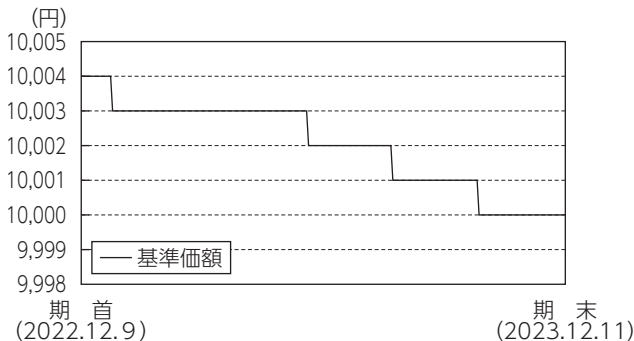
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
	10,004	-	-
12月末	10,004	0.0	-
2023年1月1日	10,003	△0.0	-
2月末	10,003	△0.0	-
3月末	10,003	△0.0	-
4月末	10,003	△0.0	-
5月末	10,003	△0.0	-
6月末	10,002	△0.0	-
7月末	10,002	△0.0	-
8月末	10,001	△0.0	-
9月末	10,001	△0.0	-
10月末	10,000	△0.0	-
11月末	10,000	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,000	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,004円 期末：10,000円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとと円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	224,869,425	100.0
投資信託財産総額	224,869,425	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	224,869,425,628円
コール・ローン等	224,869,425,628
(B) 負債	1,500,000,000
未払解約金	1,500,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	223,369,425,628
元本	223,366,515,143
次期繰越損益金	2,910,485
(D) 受益権総口数	223,366,515,143口
1万口当り基準価額(C / D)	10,000円

\* 期首における元本額は159,095,941,234円、当作成期間中における追加設定元本額は314,669,316,126円、同解約元本額は250,398,742,217円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック	947,268円
ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド - インドの匠	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし)	998円
US短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型)	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり)	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	3,985円
- ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり)	
i Freeレバレッジ S & P 500	8,578,400,572円
i Freeレバレッジ NASDAQ100	136,597,495,537円
クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型)	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	499,501円
i FreeETF 日経平均レバレッジ・インデックス	3,766,275,979円
i FreeETF 日経平均ダブルインバース・インデックス	7,383,524,817円
i FreeETF TOPIXレバレッジ (2倍) 指数	1,207,970,593円
i FreeETF TOPIXダブルインバース (-2倍) 指数	926,253,680円
i FreeETF 日経平均インバース・インデックス	8,758,653,432円
i FreeETF TOPIXインバース (-1倍) 指数	11,471,375,420円
i FreeETF JPX日経400レバレッジ・インデックス	788,263,236円
i FreeETF JPX日経400インバース・インデックス	114,002,117円
i FreeETF JPX日経400ダブルインバース・インデックス	78,926,070円
i FreeETF S & P 500レバレッジ	556,085,029円
i FreeETF S & P 500インバース	2,883,612,458円
先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用)	207,414,601円
ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S/Lトレード	4,992,083円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6	25,460,730,955円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6	11,487,636,953円
ベア2倍日本株ポートフォリオ6	3,017,601,716円
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	44,637,919円
ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレニアセット亜細亜株式ファンド	4,148円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース	10,833円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース	10,788円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回)	100,588円
ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	5,813円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△69,335,817円
支払利息	△69,335,817
(B) 当期損益金(A)	△69,335,817
(C) 前期繰越損益金	62,057,963
(D) 解約差損益金	△51,876,027
(E) 追加信託差損益金	62,064,366
(F) 合計(B + C + D + E)	2,910,485
次期繰越損益金(F)	2,910,485

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。